

株式の状況

(2016年9月30日現在)

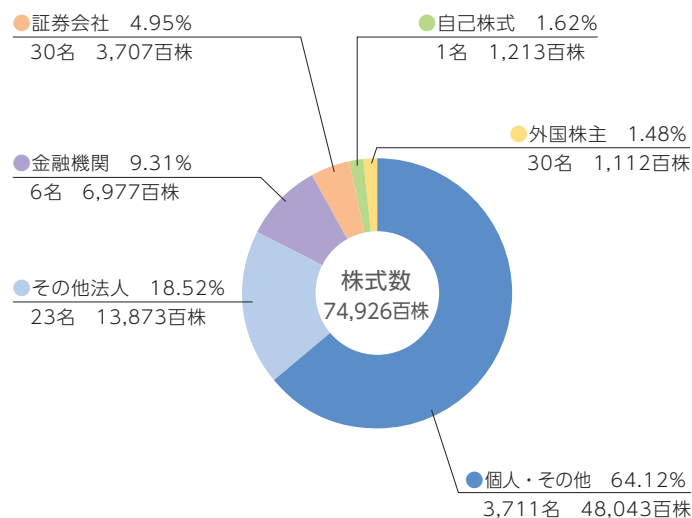
発行可能株式総数	21,600,000株
発行済株式の総数	7,492,652株 (自己株式121,302株を含む)
株主数	3,801名 (前期末比123名減)

大株主

株主名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
若光株式会社	12,233	16.60
株式会社山梨中央銀行	2,680	3.64
若尾 富士男	2,565	3.48
若尾 磯男	2,078	2.82
若尾 政男	1,527	2.07
株式会社みずほ銀行	1,500	2.03
株式会社商工組合中央金庫	1,200	1.63
リバー従業員持株会	1,188	1.61
持原 ひろ美	1,082	1.47
伊藤 博	1,050	1.42

(注) 持株比率は、自己株式1,213百株を控除して計算しております。

所有者別株式数分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当 毎年3月31日
 中間配当 毎年9月30日
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

郵便物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話お問い合わせ先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 TEL.0120-288-324 (フリーダイヤル)

公告方法 当社ホームページに掲載する。(電子公告)
 <<http://www.river-ele.co.jp/>>
 ただし、事故その他の止むを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)

未払い配当金のお支払い、支払い明細等の発行に関するお問い合わせ

お手続きお問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 株式会社みずほ銀行 本店及び全国各支店

住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等

証券会社でお取引をされている株主様

お手続きお問い合わせ先 お取引のある証券会社

特別口座に登録されている株主様

特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
お手続きお問い合わせ先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル)
特別口座での留意事項	①特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社にお取引の口座を開設し株式の振替を行う必要があります。 ②株券電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

2016年4月1日～2016年9月30日

新たな市場の開拓に向けた革新的な技術力をもって舵取りをしてまいります

代表取締役社長 若尾富士男



当第2四半期連結累計期間の売上高は、スマートフォン向けの受注が伸び悩んだことや円高による為替の影響から22億19百万円となりました。営業利益は減収の影響が大きく1億36百万円の損失、経常利益は円高の進行に伴う為替差損の計上によって1億93百万円の損失となり、当初の予想を下回る結果となりました。

2017年3月期第2四半期連結業績概要

科目	実績	前年同期比
売上高	22億19百万円	22.2%減
営業利益	△1億36百万円	1億43百万円減
経常利益	△1億93百万円	2億10百万円減
親会社株主に帰属する四半期純利益	△2億01百万円	2億11百万円減

セグメント事業別売上高・経常利益（連結）

	売上高	経常利益
水晶製品事業	22億02百万円 前年同期比21.2%減	△1億96百万円 前年同期比2億13百万円減
その他の電子部品事業	17百万円 前年同期比70.1%減	3百万円 前年同期比3百万円増

前期は世界最小の音叉型水晶振動子「TFX-04」が順調に売上を伸ばして業績を牽引したことにより、3期ぶりの黒字を達成しましたが、当第2四半期連結累計期間はスマートフォン需要の伸びが緩やかであったこと、想定以上に円高が進行したことが影響し、苦戦を強いられる結果となりました。このような状況において、販売先集中による売上リスクの分散化やグループ全社をあげての生産品質の向上活動をはじめ、コスト削減も継続して取り組みましたが、損失を補うまでには至りませんでした。

下期につきましては、主要取引先の需要や為替相場の見通しに不透明感があり、依然として予断を許さない状況にあります。しかし、このようなときにこそチャレンジや前向きな投資が必要であると考えています。先日発表しました新製品「TFX-04C」「TFX-03C」は、世界最小かつ業界トップの低損失を実現した音叉型水晶振動子です。これまで実現が難しいとされてきた小型化と低損失性能を両立している点でお客様ニーズにお応えできる製品であり、IoTに代表される成長市場などで高い需要を見込んでおります。また、技術の進歩が著しい自動運転の分野をはじめとして、市場開拓の場をより広げるべく、独自技術をもって新たな製品分野への展開を進めているほか、次世代製品の中核となる新技術の開発も大詰め段階に入っています。業容が厳しい状況にあって、来期に向けて新たな芽が育ちつつあります。

なお、期初に公表いたしました通期の業績予想である売上高59億11百万円、営業利益1億7百万円、経常利益99百万円、親会社株主に帰属する当期純利益88百万円につきましては、世界経済の先行きが不透明な状況にあり、当社業績への影響を見通すことが難しいことから、現時点では据え置きとしております。

株主の皆様には、日頃からのご支援と多数のご意見などを頂戴し、誠に感謝申し上げます。今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

操業から半世紀、青森リバーテクノ株式会社平賀工場が青森県から表彰されました

当社グループの製造拠点である青森リバーテクノ株式会社平賀工場（旧リバー電子株式会社）は、今年10月に操業50周年を迎え、このたび青森県知事より感謝状が贈呈されました。平賀工場は、青森県の津軽地方において記念すべき第1号の誘致企業として設立し、半世紀にわたり産業振興や雇用の創出に貢献してまいりました。

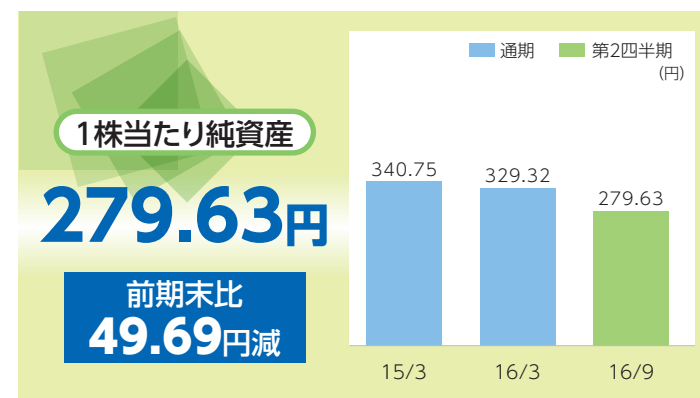
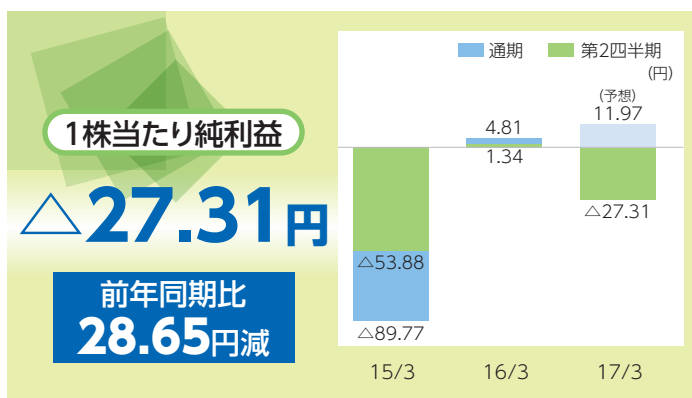
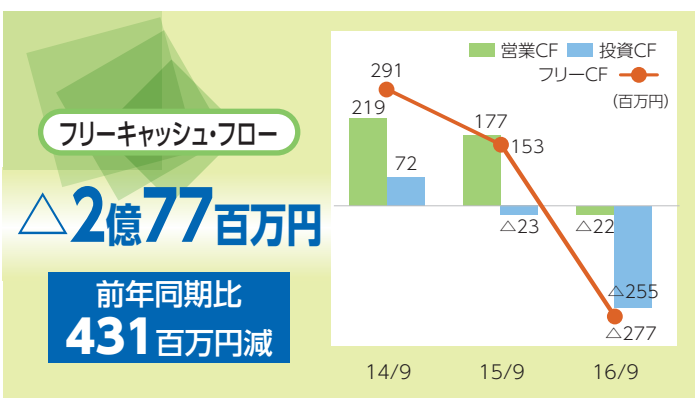
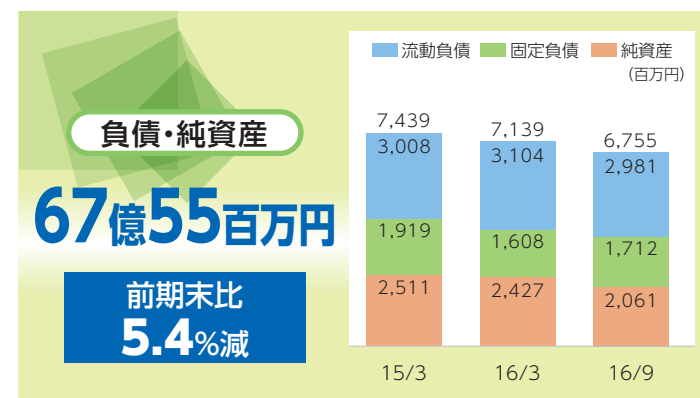
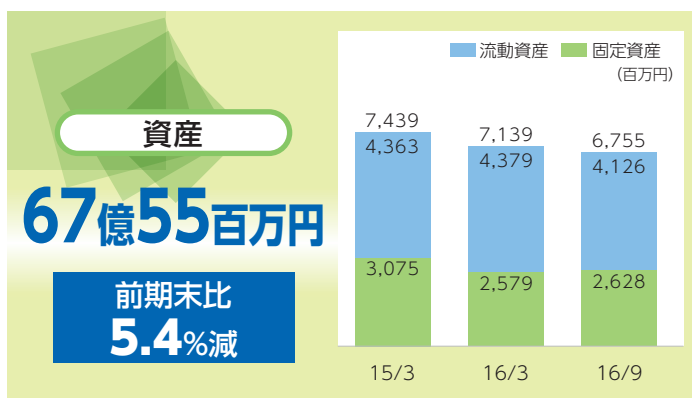
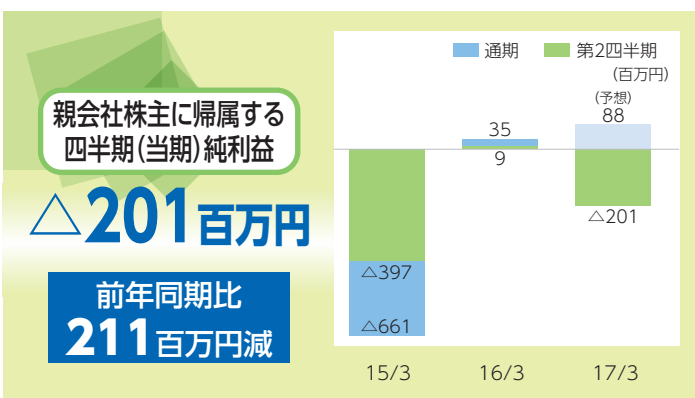
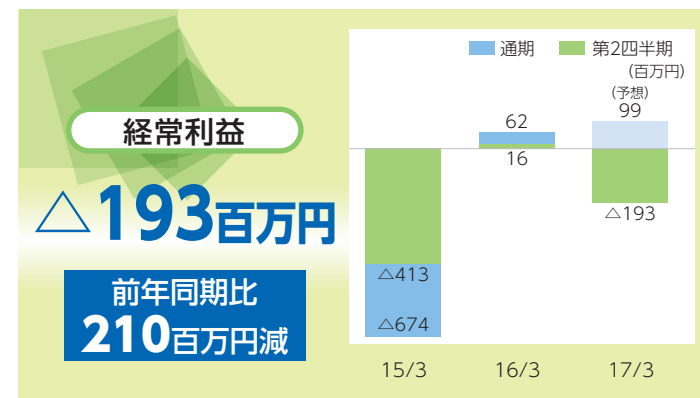
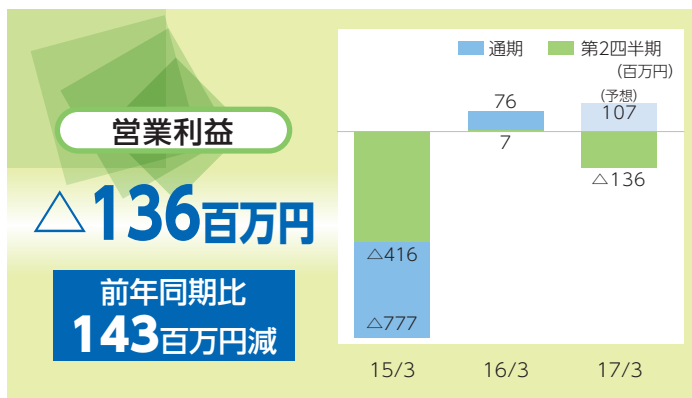
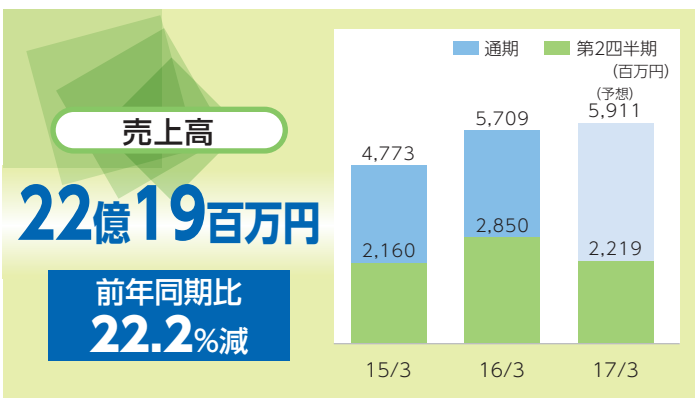
いざなぎ景気のなかで日本の総人口が1億人を突破した50年前、製造拠点は本社のある山梨県韮崎市にあり、東北地方から来た多くの労働者に支えられてまいりました。1966年（昭和41年）に青森県に工場を新設したことには、この恩返しの意味も含まれておりました。

今後も当社グループの重要製造拠点として、確かな技術力のもと、最先端の製品をつくり続けるとともに、青森県の産業振興に貢献してまいります。



青森リバーテクノ株式会社平賀工場と他青森の製造拠点



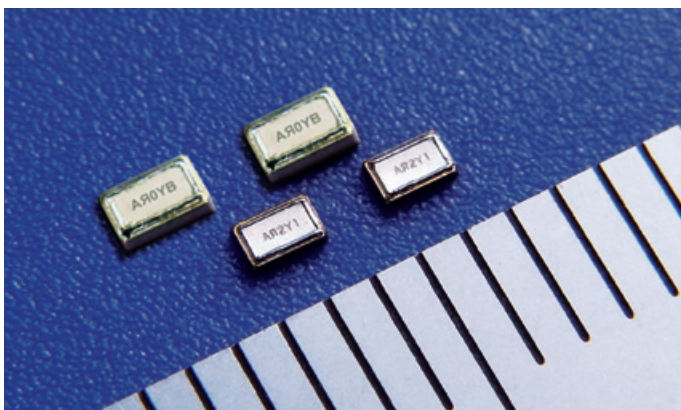


世界最小かつ業界トップの低損失 (低直列抵抗)を実現

進化のやまないスマートフォンやウェアラブル端末。便利な機能が加わることや性能がアップすることは、すなわち消費される電力が大きくなることを意味します。私たちの生活で欠かせないものだからこそ、バッテリーの減り具合は気になる問題であるように、これらの機器を設計する技術者にとっても、さらなる高機能化とバッテリー寿命の相関関係については、切り離すことができない重要な課題と考えられてきました。一般的にバッテリーを大容量にすれば、その分機器は大きく重くなってしまいます。そこで、動作中の消費電力がより少ない水晶振動子に脚光が集まることになりました。

当社は、このような市場のニーズに応え、独自の微細加工技術を駆使することで、世界最小の1610と2012サイズでありながら、低消費電流での駆動を可能にした新製品「TFX-04C」「TFX-03C」の2タイプを開発し、今期から量産を始めております。

機器の小型・軽量化と高機能化に貢献し、IoTなどの成長市場で高い需要が見込まれるものと考えております。



TFX-03C(上)とTFX-04C(下)

市場ニーズに応えるリバーの新製品



会社概要

(2016年9月30日現在)

商号	リバーエレテック株式会社 RIVER ELETEC CORPORATION		
設立	1951年3月9日		
資本金	10億7,052万円		
従業員数	90名		
役員	代表取締役社長	若尾	富士男
	常務取締役	三枝	康孝
	取締役	萩原	義久
	取締役	高保	謙治
	社外取締役	武井	義孝
	常勤監査役	古屋	延行
	社外監査役	越智	大藏
	社外監査役	野村	裕

事業所

本社	〒407-8502 山梨県韮崎市富士見ヶ丘2丁目1番11号
東京営業所	〒160-0023 東京都新宿区西新宿4丁目40番14号
大阪営業所	〒570-0083 大阪府守口市京阪本通1丁目3番2号 新近藤ビル3F

リバーグループ (子会社の状況)

会社名	資本金	議決権比率(%)	事業内容
青森リバーテクノ株式会社	千円 50,000	100	電子部品の製造
台湾利巴股份有限公司	千台湾元 19,200	100	電子部品の販売
River Electronics (Singapore) Pte. Ltd.	千米ドル 123	100	電子部品の販売
River Electronics (Ipoh) Sdn. Bhd.	千マレーシアリンギット 25,400	100	電子部品の製造
西安大河晶振科技有限公司	千元 38,255	100	電子部品の製造・販売